

10 公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー

令和6年7月1日現在

設立年月日	平成2年10月16日	代表者氏名	理事長 飯田 貢				
所在地	名古屋市中区栄二丁目10番19号					電話番号	052-201-5733
ホームページアドレス	https://www.nagoya-info.jp/ncvb/						
資本金・基本金	1,055,000千円	市出資・出捐金	500,000千円 (47.4%)				
所管部局	観光文化交流局観光交流部観光推進課					電話番号	052-972-2425
設立目的	名古屋市及びその周辺地域の産業技術、文化、歴史等の資源を活用して、コンベンションの誘致及び観光の振興を図ることにより、名古屋市の産業経済の活性化及び文化の向上並びに国際相互理解の増進に寄与することを目的とする。						
主な事業	事業名	令和5年度 事業費	事業の概要				
	観光事業	274,503千円	観光客の誘致・宣伝・受入				
	コンベンション事業	99,552千円	コンベンションの誘致・支援				
	案内所事業	97,748千円	観光案内所の管理運営				
役職員数		常勤非常勤					
	役員数	2人 (うち市派遣)	0人 (うち市OB)	1人	13人		
	職員数	31人 (うち市派遣)	3人 (うち市OB)	0人	15人		
常勤役員平均報酬 (市派遣職員を除く)		6,775千円	正規職員平均給与 (市派遣職員、臨時職員、嘱託職員等除く)		7,123千円	正規職員平均年齢 (市派遣職員除く)	49.3歳
		令和3年度	令和4年度		令和5年度		
市からの財政支出	委託料	90,002千円	94,397千円		98,238千円		
	内 随意契約金額	(90,002千円)	(94,397千円)		(98,238千円)		
	補助金	314,163千円	375,258千円		392,665千円		
	指定管理料	0千円	0千円		0千円		
	貸付金 (年度末残高)	0億円	0億円		0億円		
損益計算書 (正味財産増減計算書)	経常収益	455,927千円	540,418千円		556,479千円		
	経常費用	481,093千円	533,177千円		538,249千円		
	経常利益 (損失)	▲ 25,166千円	7,242千円		18,229千円		
	当期利益 (損失)	▲ 25,149千円	7,111千円		18,242千円		
貸借対照表	総資産	1,467,126千円	1,430,881千円		1,463,733千円		
	内 流動資産	(117,776千円)	(83,355千円)		(116,949千円)		
	内 固定資産等	(1,349,350千円)	(1,347,525千円)		(1,346,784千円)		
	総負債	103,958千円	60,602千円		75,212千円		
	内 流動負債	(103,958千円)	(60,602千円)		(75,212千円)		
	内 固定負債等	(0千円)	(0千円)		(0千円)		
	純資産 (正味財産)	1,363,168千円	1,370,279千円		1,388,521千円		

経営に関する指標（共通指標）

10 公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー

○法人の自立性

	令和4年度	令和5年度	対前年度増減
市からの収入割合 $\left(\frac{\text{市からの委託料・補助金・指定管理料}}{\text{経常収益}} \right)$	86.9%	88.2%	+1.3%
市との随意契約比率 $\left(\frac{\text{市との随意契約金額}}{\text{市からの委託料総額}} \right)$	100.0%	100.0%	0.0%
	令和5年7月1日現在	令和6年7月1日現在	対前年度増減
市職員の役員就任割合 $\left(\frac{\text{市職員の役員数}}{\text{役員総数}} \right)$	6.7%	6.7%	0.0%
固有職員比率 $\left(\frac{\text{常勤固有職員数}}{\text{常勤職員数}} \right)$	76.7%	77.4%	+0.7%

○組織運営の効率性

	令和4年度	令和5年度	対前年度増減
管理費比率 $\left(\frac{\text{管理費}}{\text{経常費用}} \right)$	2.9%	2.8%	▲0.1%

○財務の健全性

	令和4年度	令和5年度	対前年度増減
自己資本比率 $\left(\frac{\text{純資産(正味財産)}}{\text{総資産}} \right)$	95.8%	94.9%	▲0.9%
流動比率 $\left(\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \right)$	137.5%	155.5%	+18.0%
固定長期適合率 $\left(\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}} \right)$	98.3%	97.0%	▲1.3%
借入金依存度 $\left(\frac{\text{借入金+社債}}{\text{総資産}} \right)$	0.0%	0.0%	0.0%
剰余金(欠損金) $\left(\frac{\text{純資産(正味財産)} - \text{基本金・資本金}}{\text{ }} \right)$	315,279千円	333,521千円	+18,242千円

○ 経営戦略計画（R2～R5）の概要

経営戦略方針
賛助会員・行政機関・関係団体・市民との連携を深め、名古屋ならではの魅力とホスピタリティを高い次元で磨き上げることで、より多くの人々の関心を引き寄せて来訪を促すことにより、地域への経済波及効果を高め、この分野に関わる幅広い関係者の利益を最大化することに貢献します。 そのために積極的に観光・MICE 市場に関与し、そこで得られる情報を元に来訪者の動向やニーズを把握し、情報発信を最適化して名古屋を国内外に広くアピールします。

主な経営戦略目標【戦略基軸】	主な成果指標(単位)	5 目標値	5 実績値
目的とターゲットを明確にし、有効な事業に資源を投入する「選択と集中」の事業展開により、観光・MICE の誘致とおもてなしを拡充し、併せてウェブサイトなどネットメディアによるプロモーションを進め、地域の活性化とイメージアップに貢献します。 【公共サービスの充実】	国際会議開催件数(件)	253	11月頃公表予定
	入込観光客数(万人)	7,000	3,522
	外国人延べ宿泊者数(万人)	370	183
	ウェブサイト総ページビュー数(万件)	2,570	1,638
	観光案内所への外国人来訪者数(万人)	14	8.6
公益財団としての役割に留意しながら支出の見直しに取り組むとともに、新たな財源の獲得を含めた収入の確保に努め、中長期的に安定した財務基盤を確立することで、組織の自立性と持続性を高めます。 【財務内容の改善・向上】	決算収支差額(千円)	0以上	14,783
市民・企業・行政などとの多様な協働と連携により、効果的・効率的な事業運営を行います。 【効率性の発揮と成果】	賛助会員数(会員)	600	577